

## 時事短評 「モノ欲しがらぬ若者」は国を滅ぼす?!

先月号のモリモリプレス「どうする?どうなる?」で、「モノ欲しがらぬ若者、是か非か」とのお尋ねをしたところ、大学生の方からメールをいただきました。

仮にAさんとしませんが、Aさんは経済を立て直せない政府、魅力的なモノを開発できない企業にも問題があるのでは?という疑問を投げかけておられます。また、ゆとり世代を作った人たちが、自分たちで線路を敷いておいて若い世代のことをとやかく言うのは筋違いなのでは?という指摘をされています。なるほど、その通りですね。

今から質素儉約が美德とされた時代に戻るということではないでしょうが、高度成長期～バブル期のような消費熱があるかと言えば、やはりなくなっています。世界でも最高水準の生活を享受できている私たちは、満たされたからこそ、改めて何が大切なのか考える時期に来ているのだと思います。隣の人を買ったから、私も買う、という時代は終わっています。例えば、車は軽に乗りながら、数十万円するようなツーリング用自転車を買う人がいるかもしれません。ハウスメーカーの新築の家を購入するのではなく、古い民家を現代的に改修し、住まいとする人がいるかもしれません。温泉旅館には行かずとも、10日間のキャンピングカーの旅に出かける人がいるかもしれません。企業活動も広く浅くという戦略から、ピンポイントの積み重ねという戦略に変わる必要があります。

人口が減りつつある中、内需が縮小傾向にあることは認めなければなりません。しかし、私たちが生き続ける限り、一定の経済規模は存在し続けます。悲観することはありません。今までの定規が役に立たなくなっているだけの話です。個々の需要を丁寧に拾い上げ、サービスや商品としていけば良いのです。それによって内需も満たせるし、また世界にも通用する商品や技術を生む力となります。

前述のAさんは研究職を目指しているそうです。「世界に誇れるような発明をするために」精進し、「日本経済を少しでも活性化」していきたいという熱意を持っています。新しい国づくりが静かに進んでいます。

## 活動報告



## 地域でがんばる人をご紹介!! 地元のがんばりリスト

Gambarist



### ワゴン車にお茶と熱い思いを載せて! 小林伸光さん(熊谷市)

今回は、熊谷市妻沼地区にある茶の西田園代表、小林伸光さん(42)を訪ねました! 聖天様のお膝元、明治元年創業の老舗を継ぐ、熱い店主です。昨年度、県の優良小売店表彰を受けられました。



小林さんは高校卒業後、修行のために6年間、有田焼の間屋さんに勤務されました。その時、営業職を経験したことが今に生きているそうです。現在、お店を妻沼と群馬県大泉町に構えるほか、引き売りもされています。ワゴン車にお茶やお総菜などを満載し、先代から受け継いだ馴染みのお宅を回っておられます。



「お茶飲んでいきな!」というお誘いをいただくことも多いとのこと。コミュニケーションを大切にしながらのご商売で、まさに縁結びのまち、妻沼にふさわしいお仕事です。この季節、お店ではオリジナルかき氷「雪くま」も食べられます。お茶を贅沢に使った本格派!! 皆さんもぜひお店に寄ってみてくださいね!

この季節、お店ではオリジナルかき氷「雪くま」も食べられます。お茶を贅沢に使った本格派!! 皆さんもぜひお店に寄ってみてくださいね!

## INFORMATION

### ■明るい日本を創る座談会

【熊谷市妻沼地区】7月31日(水) 午後7:00～  
茶の西田園にて 熊谷市妻沼1523

### ■街頭演説

7月28日(日)  
午後2:30～八木橋東口前  
3:00～熊谷駅北口  
3:40～埼玉りそな銀行行田支店前  
4:15～梅林堂羽生店前  
4:45～「加須市役所入口」交差点

### ■モリモリコンサート

10月17日(木) 午後2:00～  
ガーデンパレスにて 会費2,500円  
地元の若手ピアニスト森田義史さんとコラボレーション!  
お申し込みは事務所までご一報ください。